

公益財団法人 放送文化基金
平成 23 年度 事業計画
(自 平成 23. 4. 1 ～ 至 24. 3. 31)

平成 23 年度は公益財団法人に移行した初年度にあたり、その事業計画は、助成事業、表彰事業、制作者支援活動事業の 3 本の柱に沿って取り組み、より一層、放送文化の向上発展とその成果の公開に向けた事業運営に努める。

1 助 成

公募により、放送文化の向上に貢献、寄与する放送技術に関する研究開発、人文・社会科学的な調査・研究、事業に対し助成を行う。

このほか、近年、助成したものの中から、視聴者の関心の高いテーマや時宜を得たテーマのプロジェクトを中心に、「研究報告会」を 3 月の「助成金贈呈式」と同時に実施する。

助成対象の決定は記者発表と同時にホームページで公開し、得られた研究成果については、PDF 等で広く紹介する。

予 算 6, 1 7 1 万円

2 表 彰

視聴者に感銘を与えた優れた番組と、放送文化および放送技術に関する著しい貢献に対し表彰を行う。

予 算 3, 4 4 7 万円

(1) 放送文化基金賞

全国の民放、NHK、制作会社を対象に広く応募を募り、つぎの 2 部門を表彰する。

また、「放送文化基金賞」の決定は記者発表と同時にホームページで公開する。

○ 番組部門

前年度に放送されたテレビドキュメンタリー、テレビドラマ、テレビエンターテインメント、ラジオの 4 分野の番組を対象とする。

番組の表彰（本賞、優秀賞、各番組賞） 計 15 本
個別分野賞（演技賞、企画賞、演出賞等） 計 5 件

○ 個人・グループ 部門

つぎの2分野で、おもに前年度に顕著な業績をあげた個人（またはグループ）を対象に表彰する。

放送文化・・・放送界に新風を吹き込み、新生面を開拓した個人またはグループ 4 件

放送技術・・・技術の開発や放送現場での工夫・考案で効果をあげた技術開発 4 件

(2) 他の賞への参加

国際コンクールである「ABU賞」（主催 アジア太平洋放送連合）と「日本賞」（主催 NHK）に参加し、優れた番組や企画にそれぞれ賞金を贈呈する。

ABU賞・・・最も優れたラジオとテレビのドラマ番組を表彰

日本賞・・・最も優れた教育番組の企画を表彰

3 支援活動事業

放送に携わる若手制作者の能力増進を支援する施策として、地域における制作者の組織を越えた交流を図る「制作者フォーラム」を全国4地区で開催する。

このほか、全国の制作者を対象に、近年、話題となった放送番組の視聴とその制作者を交えての意見交換や経験豊かな制作者による講演などを盛り込んだ「全国制作者フォーラム」を開催する。

予 算 1, 175 万円

4 広 報

広報誌「HBF報」（放送文化基金報）を年2回、春と秋に刊行し、基金の1年間の活動計画やその実施記録を印刷物として広く配布し、紹介する。

また、ホームページではより最新の情報掲載につとめる一方、助成対象・表彰対象のデータベース化を推進し、積極的に公開して行く。

予 算 410 万円